

第8回倫理審査委員会会議の記録の概要

日時：平成22年12月10日（金） 15：15～
場所：会議室
出席者：委員（進行） 副院長 林弘人
委員 事務部長 口藏紳一郎
麻酔科医長 内本亮吾
企画課長 角田康二
薬剤科長 八本聖秀
外部委員 中野昌治（弁護士）
阿武英晴（市薬剤師会）
申請者 泌尿器科医長 鄭泰秀
外科医師（申請者代理） 上村吉生

審議事項：議題1、「IPSS・OABSS・CLSS でみた Male LUTS に対するフリバス 75mg の有効性の検討」
議題2、「JFMC41-1001-C2 (JOIN Trial) Stage II /Stage III 結腸癌治癒切除例に対する 術後補助化学療法としての mFOLFOX6 療法の認容性に関する検討」

副院長：ただ今より受託研究審査委員会を開催します。

鄭泰秀：議題1

2008年9月に作成された「男性下部尿路症状ガイドライン」では Male LUTS の各種症状を把握する上で、「主要症状質問票（CLSS）」が有用であり、薬物療法としては α 1受容体遮断薬が繁用されている。その α 受容体遮断薬であるナフトピジルは特に夜間頻尿をはじめとする蓄尿症状に有効であることが数多く報告されている。しかしながら Male LUTS に対する有効性については未だ明確ではない。そこで男性下部尿路症状に対してフリバス 75mg/日の有効性を国際前立腺症状スコア（IPSS）と過活動膀胱スコア（OABSS）とともに、CLSS を用いて評価することを説明する。

上村吉生：議題2

日本人における Stage II または III の結腸癌（直腸 S 状部癌を含む）治癒切除例を対象として、術後補助化学療法としての modified FOLFOX6 療法の認容性を確認することを目的とすることを説明する。

各委員：出席者全員一致で了承。